

各担当者からのメッセージ



◆進路部より

3年生の保護者の皆様へ。ご息女は、進路に対してしっかりと向き合わなければならない時期になりました。今月は保護者の皆様にも理解していただきたい主な試験制度をご紹介します。

□AO入試：大学・短大・専門学校側（後：大学と記します）が欲しい学生を選抜する入試です。

受験生が自分で志願し、大学側が書類審査や小論文試験、面接などで、受験生の学ぶ意欲や能力を見ます。学業成績に基準を設けないケースが大半で、何よりも「その大学で学びたい」という意欲や熱意が評価されます。学びたいことが明確な人に向いている試験制度です。

□自己推薦入試：受験生自身が、自分の能力や実績をアピールし、大学側が学業成績と合わせて合否を決める入試です。校長の推薦を必要としない学校が多いです。得意分野がある人、一芸に秀でた人、部活動で優秀な成績を収めた人に向いている試験制度です。

□指定校推薦入試：大学が指定する特定の高校に限って募集をする入試です。指定を受けていない高校の生徒は受験することができません。勉強や部活の成績などを評価して、校内選考を行います。志望する学校が本校を指定してくれている場合には、お薦めの入試制度です。該当校一覧表はPTA総会の日に配布する「進路のしおり」に載せてありますのでご確認ください。

□公募推薦入試：推薦入試のメインの選抜方式です。大学が提示した出願条件を満たす人について、校長の推薦に基づき、高校での成績や活動ぶり、面接や小論文、学力検査などを総合して合否を判定します。出願条件をクリアし、校長の推薦が得られれば、誰でも受験できます。高校時代に打ち込んだものがある人や小論文が得意な人に向いている試験制度です。

□一般入学試験：入学試験のメインの選抜方式です。3年次の最後まで勉強を続けなければならぬため負担は大きいですが、その分、精神面での成長には目を見張るものがあります。やり遂げた人は、達成感と自信を持って次のステップに進んでいきます。国公立大学ではセンター試験と個別試験が課されます。私立大学では主として3教科受験が課されます。高い志と強い意志を持っている人に向いている試験制度です。

専門学校では、6月にはAO入試のエントリーが始まります。中にはオープンキャンパス時に、エントリーを強く勧める学校もあるようです。2学期に入ってからの出願でも充分間に合いますので、ご息女には、少なくとも3校以上比較した上でエントリーするように促してください。指定校推薦を利用した方が学費の面で優遇される場合もあります。焦ることなく、学校や入試制度を吟味し、ご息女に合った受験計画をお考えください。

◆教務部より

教務部長 児玉美奈子

職員室には各クラスの欠席・遅刻・早退などを記入するホワイトボードがあります。ここに「0」と記入するとき、先生方はとてもうれしそうです。

高校では「欠席しない」ことがとても重要です。それは進級や卒業に直結することだからです。中学校では「保健室登校」でも卒業することができたかもしれません。しかし高校では授業に出席しないと、たとえ定期試験で満点をとっても、進級・卒業することができません。「出席時数が出席すべき時数の3分の2より多いこと」が単位認定の条件の一つであり、「履修すべき科目の全単位が認定されること」が進級・卒業の条件だからです。（詳細は「高校生活の手引き」18ページをご覧ください。）

5月半ばには中間試験も控えています。健康に留意して、授業にしっかりと出席する。それがまず第1歩です。

◆TO1学年

1学年主任 鈴木富美子

雨が多く寒い日の続いた4月でしたが、やっと春らしくなってきました。天候に恵まれた遠足では新しいクラスメートと親睦を深め合う楽しげな様子が見られました。また、先週末には浜松駅付近であしなが学生募金活動がありました。初めて参加する生徒も多かったようですが、元気のよい声と明るい笑顔で募金を呼びかける姿がさわやかでした。

高校生活が始まっていますが、最初の良い緊張感を忘れずに毎日過ごしていますか？この1学期は高校生活の型を作る期間です。「型破りな演技は、型を知らずにはできない。型を知らずにやるのは、形なし」というのは、人間国宝、坂東玉三郎さんの言葉です。しきたりの厳しい歌舞伎界では異例の型破りな挑戦をしている方ですが、65歳になった今でも基礎の稽古をとても大切にしているそうです。土台がしっかりしている人でなければ型は破れない。基本的なこともできないうちに自己流で突き進むと最終的には「形なし」になって何事も成し得ない。1年生のうちに基本をきちんと身につけ、自由にやりたいことができる力を自分の中に育ててほしいと願っています。

保護者の皆さま、5月のPTA総会の折にはクラス懇談会を行います。担任が学校での様子をお話しますので、どうぞご来校ください。

◆TO2学年

2学年主任 砂子幸弘

4月から2学年になり中堅学年となりました。部活動や勉学に精を出してほしいと思います。部活では、今までの自分中心の考え方から一步進んで、新入部員の面倒を見たり3年生を補佐したりしなければいけません。そして仲良しクラブではなく厳しさも楽しさも兼ね備えた、共通のことをおこなう集まりであってほしいと思います。悩むこと多くなると思いますので文句やグチなどを聞いてあげてください。また大学進学を目指す者は、何よりも教科の勉強が大切ですが、今の時期は読書と新聞を読むように心がけましょう。それらを活かし語彙・読解力検定や世界遺産検定等の各種検定にチャレンジすることが知識や考え方の幅を広げていくにつながっていくものと考えます。生徒一人一人は、落ち着きがなかった昨年に比べて授業にも前向きになってきています。ご家庭でも励まし元気づけてあげてください。

◆TO3学年

3学年主任 中村隆之

保護者の皆様、こんにちは。3学年主任の中村です。本年度もどうぞよろしくお願ひします。本年度は高校生活の集大成の年になります。それぞれの生徒が自分の希望する進路先に進むことができるよう、3学年の教員を中心に全職員が一丸となってお世話をさせていただきます。どうぞ安心ください。

さて、一つお願いがあります。それはご息女が進学先や就職先を決める際に何から何まで他人任せにさせないということです。資料を取り寄せたり、インターネットで学校や企業のホームページを読んだり、オープンキャンパスに参加したりして、自ら研究していただきたいと思います。勿論、研究の過程で疑問や迷いが生じた際には、受験指導の経験豊富な教師陣や人生の師でもある保護者の助言が必要となります。最終的に自分で決めたことには後悔せず、与えられた環境で全力を尽くすような人間に育って欲しいと願っております。

TEL : (053) 454-5376 FAX : (053) 453-4719

学校ホームページ <http://www.umino-hoshi-h.ed.jp/>